

裾野カンツリー倶楽部 運営協議委員会議事録

開催日時：2025年5月31日（土） 午後1時30分開会

開催場所：裾野カンツリー倶楽部 カフェテリア

出席者

委員長（議長）：山田 晃久

副委員長：井山 利一、山本 吉幸

委員：岩永 百合子、加藤 伸一、澤上 敬子（委任状出席）、高槻 啓太、
田中 勤（委任状出席）、浜村 悟、早川 聡彦、福田 英夫

（50音順・敬称略）

倶楽部及び会社	： 裾野カンツリー倶楽部	総支配人	藤原 峰之
	〃	グリーンキーパー	片岡 義明
	〃	副支配人	八木原 誠
	〃	キャディマスター	杉山 美恵
	〃	所属プロ	太田 慶治
	〃	書記	九島 宏樹

藤原総支配人より、本日の出席者は委員11名中、出席9名、委任状出席2名となっており、会則の細則第8条4項に定める定足数を満たし、本運営協議委員会が成立する旨が告げられた。裾野カンツリー倶楽部カフェテリアにて、山田委員長より開会の挨拶をいただいた後、第56回運営協議委員会の議事が開始された。

1. 倶楽部からの報告

●2025年5月17日開催の定例理事会報告

＜山田委員長より＞

- ・裾野カンツリー倶楽部の名物料理をつくっていただくために、会社側に試行錯誤していただいている。現在4人でオーダーができるパエリアランチが好評であるため、コンペなどを含めて皆様にもご注文いただきたい。
- ・第38回ウエルカムコンペが4月29日（祝・火）に開催され、新入会員6名の方が参加された。

理事・運営協議委員4名、推薦人2名にアテンドいただき、合計12名での開催となった。

終始、雰囲気が和やかであり、良い会となった。

●コース状況報告 <2024 年 12 月 ～ 2025 年 5 月>

<片岡グリーンキーパーより>

- ・ 2024 年度の 3 月は、初旬の週に 3 回も降雪があり、計 4 度の積雪が観測された。3 月なので気温が高く、雪は解けたが、コーライ芝や日本芝の芽だし（幼芽）に悪影響が及び、グリーン周りのアプローチ付近に傷みが激しく出てしまった。
- ・ No.12 は左の木を伐採してシルバーティーを使用できるようにした。また、フルバックティーを使用できるように右のナラ・カシを伐採した。そのため、ティーグラウンドが 6 面使えるようになった。
- ・ No.15 の 50y 付近の暗渠排水を取るとともに排水マスに流れるように大きなマウンドを設けた。
- ・ No.18 の左法面からの表流水を遮るためにマウンドを設けた。また、250y 付近のフェアウェイの暗渠排水を取り直し、排水マスへ導くためにフェアウェイをへこませた。それにより、そこから先に水が行かないようにしている。
- ・ No.11 のグリーン左バンカーの砂の流出を防ぐため、マウンドを設けた。
- ・ No.17 のグリーン右手前バンカーの砂が流れないようにバンカーシートの張替えと暗渠排水工事を行っている。また、ティーグラウンドから見えないバンカーの手前部分を芝地にして、造形も変更した。また、同様に右中央バンカーもティーから確認しやすく、整備しやすいように造形を変更した。グリーン左奥バンカーもティーから見たときに存在感がないため、見え方を変えるために造形を変更した。
- ・ No.18 のグリーン右手前バンカーは暗渠排水が複雑化して水が抜けにくくなっていたので、一度壊して勾配をきちんととって暗渠排水を作り直した。おかげで 5/17 の大雨でクローズになった日でも、問題なく排水されており水がたまらない状況になっていた。
- ・ No.16 のティーショットが行きやすい左 100y 付近、右 150y 付近に芝張りを行った。
- ・ No.4-5 の坂のカート路の凸凹を補修してスムーズにカートが進むようにした。
- ・ No.3 のカート路横のメタセコイアの根がカート路を持ち上げていたので、伐採した。
- ・ No.4 のヤマモモの木とバンカーがダブルハザードになっていたので、ヤマモモの木を伐採した。ヤマモモの木を伐採すると管理道路が目立ってしまうので、マウンドを造って隠した。
- ・ No.14 グリーンの芝の光合成を阻害していた売店横の木は、1 本残して伐採した。
- ・ No.3 のティーグラウンド左の竹林の間伐と枯竹の運び出しを行い、風情のある竹林を目指している。
- ・ 進入路はサクラなどの枯木が多く、毎日のように太い枝が落ちて事故につながる危険があったので伐採した。
- ・ No.11 の右法面で破裂した給水管を復旧した。
- ・ クラブハウスの外壁を洗浄した。駐車場の低木を撤去して芝に張替え、整備した。
- ・ 10 年かけてコースの外周をシカフェンスで囲んだ。イノシシを一頭捕獲したが、まだ場

内にシカやイノシシが何匹か潜んでいると思われる。

【質疑応答】

・薬でイノシシやシカを駆除するのはどうか。＜高槻委員＞

→薬を使うと、それが流れて下流に悪影響を及ぼす。No.3 の鑑賞池のコイは薬をつかっていない証にもなっている。＜片岡グリーンキーパー＞

2. 各分科会からの報告

●フェローシップ分科会

＜山田委員長（分科会長）より＞

・シンプルな料理（蕎麦など）を今後検討して欲しいことを会社側に伝えました。

→月替わりメニューが6月から盛岡冷麺とハヤシライスになります。＜藤原総支配人＞

●競技・キャディ分科会

＜山本副委員長（分科会長）より＞

・月例の参加者が少ないので、参加率を高めるために今後啓蒙していきたい。

・ファンケルが10月になったので、倶楽部選手権を6月以外で開催することを検討してはどうか。

・月例の際は、ティーの位置を前にするのはどうか。＜浜村委員＞

→スロープレート方式という制度がある。個人がティーを選び、A・Bクラス混ぜて、競技を楽しむこともできる。＜杉山キャディマスター＞

→A・B混ぜることによって、全体のレベルがあがることもある。＜浜村委員＞

→昔、スロープレートを全国的に導入する動きがあった。しかし、その時は査定する側にやや不安があり、導入には至らなかった。スロープレートを導入しなくても、現在のハンディキャップを踏まえて、ティーごとにハンディを増減させて競技をすることもできる。＜藤原総支配人＞

→他のゴルフ場では、偶数月はA・Bのクラス別、奇数月は年齢別というやり方をとっている所もある。ただ、競技志向のゴルファーが減っていくことがある。＜山本副委員長＞

●コース分科会

＜井山副委員長（分科会長）より＞

・バンカー練習場がわからず、No.9のバンカーで練習をしている人がいた。看板を増やしていくことはできないか。

→以前は矢印を出していたが、No.9グリーンという標記にした。

<片岡グリーンキーパー>

→「バンカー練習場は何m先です」という標記はどうか。<高槻委員>

→道路の色を変えるのはどうか。<岩永委員>

→そもそも案内板を見ずに、バンカーだけを見て行ってしまう人もいます。

<片岡グリーンキーパー>

●2025 年度競技当番委員について

<太田プロより>

・当番委員のご協力を各運営協議委員にお願いした。

→例年、運営協議委員に当番表を出すのが春季の運営協議委員となっている。今後は3月に来年度分を提案するか、4・5月までは前年度の運営協議委員にお願いするか、どちらがよろしいでしょうか。<藤原総支配人>

→私は平日の当番になっているが、仕事があつて都合がつかないことが多い。年間の見通しを含めて、運営協議委員の意向を聞いて決定してほしい。<浜村委員>

→そもそも活動していないことが多く、太田プロが行っていて形骸化していないでしょうか。<岩永委員>

→やはり競技は、委員に協力をいただいて運営していきたい。<浜村委員>

→理想は、欠席の場合には連絡を取り合つて代理を立ててほしい。<藤原総支配人>

→以前は、月例でも表彰式で運営協議委員からの挨拶があつた。<岩永委員>

→三大競技とチャンピオンカーニバルは山田委員長、月例については各委員で回すのはどうか。<藤原総支配人>

→今後はLINEでグループを作成し、案内いたします。<藤原総支配人>

3. その他

・料理長の渡邊はパエリアの大会に出ている。火おこしは、コース課の熊谷が行っている。

渡邊は和食の大会にも出て、成績を収めた。<藤原総支配人>

・パエリアなどに合うワインも様々な種類を仕入れてほしい。<早川委員>

→今後、ワインセラーを購入する予定である。<藤原総支配人>

<藤原総支配人より>

・今回のDM（メンバー案内）に記載されていたQRコードに不備があり、メンバーの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。対応としては、HPにアップロードし、文書を再送付いたしました。今後DMの閲覧方法などは社内で検討し、方向性が決まり次第お伝えいたします。

・ゴルフ場業界も PGM などではキャンセルフィを徴収する流れが出てきている。静岡県ゴルフ場協会でもキャンセルフィ徴収を推奨する方向で動いている。当倶楽部も予約に責任をもっていただくために、他のゴルフ場と足並みをそろえてキャンセルフィの徴収制度を 10 月に導入する予定である。徴収方法などの詳細については、7 月以降にお伝えいたします。

→参考までに千葉のグレンオークスは 1 週間前までに連絡をし、キャンセルフィが発生した場合にはメンバーが負担をしている。また、日程変更を可としている。＜加藤委員＞

・議事録をメンバーへ開示するのはどうか。＜加藤委員＞

→メンバーへの開示なので、HP へアップロードするのはどうか。＜藤原総支配人＞

→コース改修の資料も館内掲示してほしい。＜浜村委員＞

その他意見の有無を確認したが、委員からの意見が挙がらなかったため、ここで本日の協議は終了する旨の宣言がなされ、15 時 05 分閉会となった。

以上、議事の経過の要領及びその結果等を記載し、委員長記名押印する。

2025 年 6 月 9 日

裾野カンツリー倶楽部 運営協議委員会

議長 運営協議委員長

山 田 晃 久

